

③大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業 企画提案書（事業概要資料）

<b>実施計画名</b>	<b>「福岡大学発“FUスポまちコンソーシアム”の共働によるパラスポーツの普及・振興モデル」 ～大学スポーツ資源と地元プロチームホーム戦会場を活用したインクルーシブな教育・体験機会の創出～</b>
<b>事業概要</b>	<p>①福岡大学スポーツ・健康まちづくりコンソーシアム（略称：FUスポまちコンソーシアム 設立2022年9月）によるパラスポーツ機会の拡大 <b>自治体、産業界（経済同友会など）との連携や一般社団法人FUスポーツコミュニティとの協力体制による事業展開と自走化</b></p> <p>②福岡市内における大学や地元プロチームが一体化したインクルーシブ教育とパラスポーツ普及機会の創出 <b>FUスポまちコンソーシアムの参画団体が連携し「スポーツで誰もが、ともに、つながり、はぐくむまちづくり」地域振興モデル事業を展開</b></p> <p>③福岡市、福岡市障がい者スポーツ協会、福岡市立障がい者スポーツセンター等との大学生アスリート人材の育成と活用 <b>パラスポーツを支援する人材として大学生を活用しながら、障がい者のスポーツ参画人口の拡大や支援する人材教育・育成の機会と場の創出</b></p>

■対象地域が抱える課題

<b>対象地域</b>	福岡市内
①パラスポーツを体験する機会の不足	
②インクルーシブな教育の機会や場を十分に確保できていない	
③障がい者スポーツ団体だけでは、支える人材（ボランティア）や資金が乏しい	
④パラスポーツに対する福岡市民の認知度が低い	
⑤パラスポーツの体験機会を増やす組織体制づくりができていない	
⑥公認パラスポーツ指導員資格取得者（初級・中級・上級）が少ない	
⑦公認パラスポーツ指導員資格取得認定校（大学・短大・専門学校）が少ない（市内4校）	

■具体的なプログラム・活用する大学スポーツ資源

<p><b>①コンソーシアム幹事会、ワーキンググループ（WG）の定期開催</b>                  期日：2024年8月,10月,12月 幹事会開催予定（WGは必要に応じて随時開催）                  場所：福岡大学社会連携センター（ハリオスプラザ内）                  対象：参画団体の幹事会・WG関係者・WGメンバー                  資源：福岡大学スポーツ科学部教員、学生リーダー、事務局担当者、コンソーシアム参画団体</p> <p><b>②大学スポーツ資源を活用したインクルーシブ教育とパラスポーツ体験会の開催</b>                  期日：2024年12月1日(日) 障がい者サッカー大会&amp;パラスポーツ体験会                  期日：2024年12月15日(日) 障がい者バスケット大会&amp;パラスポーツ体験会                  場所：福岡大学サッカー場、総合体育館内専用コート                  対象：幼児・小・中・高・大学生、社会人、シニア世代 約200名、障がい者大会参加者 約300名                  資源：福岡大学指導者、運動部学生、専門科目カリキュラム履修学生、用具、コンソーシアム参画団体</p> <p><b>③地元プロチームとのコラボ企画（場所：プロチームホーム戦会場）</b>                  期日：2024年11月2日(土) 【ライジングゼファーフ福岡】車いすバスケ&amp;パラスポーツ体験会                  期日：2024年10月4日(金) 【アビスパ福岡】ブラインドサッカー&amp;パラスポーツ体験会                  期日：2024年12月21日(土) 【キューデンヴォルテクス】ウィルチェアラグビー&amp;パラスポーツ体験会                  対象：福岡市民（年齢、性別、国籍、障がいの有無不問）                  資源：福岡大学専門的指導者、学生、コンソーシアム参画団体</p> <p><b>④パラスポーツの活動支援、大学アスリート人材の育成と活用</b>                  期日：10月～12月 計4回 場所：福岡市立障がい者スポーツセンター内イベント会場                  対象：福岡市内の障がい者                  資源：福岡大学スポーツ科学部正課授業【アダプテッドスポーツ演習】履修学生(約200名)                  教職課程履修学生、健康運動指導士資格取得学生、スポーツ科学部教員</p>
---

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）



■期待される事業結果・効果

<ul style="list-style-type: none"> <li>パラスポーツ体験会参加者数の増加、市民の認知度拡大</li> <li>スポーツを通じたインクルーシブ教育の機会や場の創出</li> <li>多様な団体の連携による新しい地域スポーツ基盤の創出</li> <li>大学スポーツ資源を活用したパラスポーツ振興モデルの横展開（国内外でのスポーツ関連学会等での発表・報告）</li> <li>公認パラスポーツ指導員資格者（初級）の増加</li> <li>公認パラスポーツ指導員資格取得認定校増加の機運醸成</li> </ul> <p><b>【KPI値】</b>                  イベント参加者 <b>1,500人超</b> 公認パラスポーツ指導者資格（初級）登録者 <b>20名超</b>                  参加者アンケート調査（全く初めて参加 <b>75%超</b>、パラスポーツへの関心度が高まった <b>80%超</b> / 全参加者）                  支援学生アンケート調査（興味・理解度向上 <b>85%超</b>）                  プロチームアンケート調査（次回開催希望 <b>6団体 / 6団体</b>）</p>
---